

令和3年1月7日

第535号

横浜市立日吉台小学校

教育目標

みずから生きる

ともに生きる 日吉台の子

# ひよびだい

令和3年 辛丑(かのとうし)の年が始まります。

校長 玉置 恭美



新年あけましておめでとうございます。今年は例年より少し短い冬休みでした。11月から年末にかけて、感染症防止にさらに留意せねばならなくなり、親戚の方々に会いに行ったり、家族で旅行に出かけたりすることができない冬休みだったのではないのでしょうか。

紅白歌合戦が、史上初の無観客で行われました。初詣も、リモートで行うなど、普段と違った様相でした。神社等では12月から受け付ける、あるいは「2月2日までがお正月です。ゆっくりとお出かけください」等の表示をして、大晦日から元旦にかけての人の密集を避ける、手水舎の場所にアルコール除菌剤が設置してある、正殿の前には、ディスタンスを保つために間隔をあけてテープが貼ってある、お参りの際に鳴らす本坪鈴(ほんつぼすず)が取り外してある、などなど様々な感染症拡大防止対策が取られていました。

私は毎年、元日に家族でお墓参りに行っています。横浜の地元のお寺で、お盆やお正月の墓参の際に、小中学校の同級生と会うこともあります。そのお墓の横には私が通っていた小学校がありました。1年生で入学したころは木造校舎が残っており、お墓と小学校の間には、小学生が5人で手をつないでやっと幹の周りを囲めるような大きいヒマラヤスギがあったことをお寺に行く度に思い出します。その木造校舎は老朽化と児童数の増加により取り壊され、小学校2年生からは丘の上にある鉄筋の校舎に通うことになりました。今年、丘の上の小学校の前を通ると、その鉄筋校舎は建て替えにより、地上5階建、最新鋭の設備を持った校舎に変わっていました。自分が卒業してから、何度も増改築を繰り返してきた校舎がついに建替え、と少し感慨深かったです。

十干(じっかん)と十二支(じゅうにし)を組み合わせたものが「干支」ですがその組み合わせが「辛丑」となるのは、次は60年後だそうです。辛丑の組み合わせは「相生」で、相手を強める影響をもたらす年、そして変化が生まれ新しい兆しが見える年になりそうです。児童の皆さんが互いに協力し、高め合って新たなものを生み出せる年となることを願っています。

感染者の増加により、医療に携わる方々のご苦勞が日々報道されています。

感謝の気持ちを持つと共に、感染しない、させない予防を続けていきましょう。

本年もどうぞよろしくお祈りします。

